

2026 年 8 月 31 日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

「CEATEC 2026」 出展のお知らせ

製造現場のナレッジなど多様なデータを活用し、フィジカル AI と共創で拓く新たな価値を紹介



ブースのイメージ図

三菱電機株式会社は、10 月 13 日（火）から 10 月 16 日（金）まで幕張メッセで開催される「CEATEC 2026」に、「フィジカル AI でつくる、産業のミライ。～現場ナレッジを起点に、データと共創で生み出す新たな価値～」をテーマに、三菱電機グループとして出展します。

CEATEC は、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描くことを趣旨としたデジタルイノベーションの総合展です。

当社グループは、事業成長と社会・環境課題の解決に向け、リスクを恐れず新しい発想で価値を創出する「イノベティブカンパニー」への変革を進めています。その一環として、長年培った豊富な現場ナレッジと AI 技術の掛け合わせによる「循環型 デジタル・エンジニアリング」の強化に取り組んでいます。

今回の展示会では、当社のデジタル基盤「Serendie®（セレンディ）」を活用し、AI による自律的な判断を通じて「物理世界を理解し、判断し、環境の曖昧さ・揺らぎを吸収しながら、安全に動くフィジカル AI」を実現するための社内外共創の取り組みや、フィジカル AI の活用による無人化工場の実現に向けた取り組みを、体験型展示やデモンストレーション、プレゼンテーションを通じて紹介します。

会期に先立ち、当社特設サイトを本日公開しましたので併せてご覧ください。

出展ブース：幕張メッセ ホール 8（ブース番号 8H412）General Exhibits エリア

当社特設サイト：

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/special/convention/ceatec2026/>

出展の見どころ

1. 製造現場における熟練作業者と同等レベルの自律的な判断・行動の実現に向けたフィジカル AI

- ・ 部品の個体差やわずかな位置のずれなどから、自動化の難易度が高いとされる製造現場の組み立て工程において、工場設備による熟練作業者と同等レベルの作業実現に向け、AI を活用した行動モデルの社内実証例を紹介。今回は、部品の状態を見極めながら力加減や作業角度を調整する際に、現場作業に応じた暗黙知に基づく判断や作業スキルが求められるねじ締め作業を題材にしたロボットアームなどを自律的に制御するデモンストレーションを実施

2. 多様な形状・サイズの物品を棚へ適切かつ柔軟に配置するフィジカル AI

- ・ 社外パートナーとの共創の取り組みとして、人型ロボットが多様な形状・サイズの物品を棚へ適切かつ柔軟に配置するデモンストレーションを実施。ロボットが現場特有の事象への対応ノウハウを学習する技術や仕組みも紹介

その他の出展内容

1. 「循環型 デジタル・エンジニアリング」の強化に向けた取り組み

- ・フィジカル AI 活用に向けた「Serendie×OT セキュリティ」による安心・安全なプラットフォームの構築<プレゼンテーション>
- ・想定外の事象やリアルタイムな変化に対応しながら安全な稼働を実現する当社のフィジカル AI<パネル展示>

2. 生産効率改善の自律化・高度化技術やサービス

- ・革新的に生産効率を向上する自律型の無人化工場<パネル展示>
- ・製造現場をリアルタイムに可視化し、データの収集と意味付けを担うアプリケーション群<パネル・デモ展示>
- ・生産性向上や現場作業の効率化・高度化を実現する AI エージェント群 <パネル・デモ展示>

3. 製造現場のフィジカル AI ソリューション創出に向けた取り組み

- ・現場の多様な音から異常音や人の声を聞き分ける「タスク汎用音源分離技術」<パネル・デモ展示>
- ・社外パートナーとの共創を通じた、人型ロボットの導入に必要なシミュレーションソフト<パネル・デモ展示>

4. エネルギー効率最高水準 (PUE1.1^{*1}) を実現する次世代データセンターソリューション

- ・電源システム、冷却システム、監視制御の各システムを統合・最適制御するトータルエンジニアリングによるエネルギー効率の最大化<プレゼンテーション>

5. 社内外共創の取り組み事例

- ・AI 時代の開発における社内外ナレッジ循環の推進「データ活用宣言から始まる三菱電機の共創」<プレゼンテーション>
- ・コーポレートベンチャーキャピタル (CVC) 「ME イノベーションファンド^{*2}」を通じたスタートアップ企業との協業<プレゼンテーション>

商標関連

「Serendie」	三菱電機株式会社の商標
------------	-------------

三菱電機グループについて

三菱電機グループは、「Our Philosophy」のもと、サステナビリティを経営の根幹に据え、社会・顧客・株主・従業員をはじめとしたステークホルダーからの信頼を重んじてまいります。また、「収益性」「資本効率」「成長性」を追求するとともに、顧客と繋がり続けて社会課題を解決する新たな価値を創出し、企業価値の持続的向上を図ります。1921 年の創業以来、100 年を超える歴史を有し、社会システム、エネルギーシステム、防衛・宇宙システム、FA システム、自動車機器、ビルシステム、空調・家電、デジタルイノベーション、半導体・デバイスといった事業を展開しています。世界に 200 以上のグループ会社と約 15 万人の従業員を擁し、2025 年度の連結売上高は 5 兆 8,947 億円でした。詳細は、[オフィシャルウェブサイト](https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2022/0113.pdf)をご覧ください。

※1 PUE (Power Usage Effectiveness) : データセンターのエネルギー効率を示す指標。「データセンター全体の電力消費量÷IT 機器に供給される電力消費量」で 1.0 が理想。値が小さいほど効率が良いことを示す

※2 2022 年 1 月 13 日広報発表『「ME イノベーションファンド」設立』
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2022/0113.pdf>

お問い合わせ先

< 報道関係からのお問い合わせ先 >

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2332

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/contact.html>

< お客様からのお問い合わせ先 >

三菱電機株式会社 ブランドコミュニケーション部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2311 FAX 03-3218-2321